

# 春一番

鳥取県 あんこくじ 安国寺住職 もり 森 した 下 じ 慈 こう 孝

---

今朝は春一番というお話です。

大学の同級生で、福井県の永平寺でも共に修行した友人がいます。友人は宮城、私は鳥取と離れてはいても互いに何度も行き来した間柄です。

三年前の東日本大震災の日、宮城の三陸海岸沿いのお寺にいる友人に連絡をとろうとしましたが、一向に通じません。私は、お寺は高台にあるから大丈夫という思いと、不安とで心が大きく揺れました。一週間が過ぎようやく電話がつながりました。集落の高台にある友人のお寺は地区の人達の避難場所になっていて、地震のあと次々に地区の人が集まってきました。しかし二〇Mを越える津波は家も車も、のみ込みながらお寺へと押し寄せました。友人は地区の人達と一緒に更に裏山へと逃れましたが、津波は本堂のひさしまで来たそうです。

地区の人達と一緒に裏山の廃屋に避難していた友人が、山越えをしてきた自衛隊に救出されたのはそれから五日後のことでした。あの日から三年が過ぎ、かろうじて残った本堂だけはようやく再建の目途がつかいましたが、四十五軒あった集落で残ったのは2軒だけでした。

この春、友人からうれしい便りが届きました。大震災のあの日、中学を卒業した息子さんが、不自由な生活を克服して、地元の難関国立大学に合格したそうです。少し遅れた春一番が吹いたようでした。